



動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)

電話 { (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
FAX 043(224)7197 番

2000.12.18 No. 5240

◎ 営業分科会定期委員会

(12/5)

吉野新会長(総武)を選出



営業分科会第四回定期委員会が、一月五日DC会館において開催された。

営業分科会は、九六年二月の直営店舗廃止以降、組織の強化・再編を進めてきた。この第四回定期委員会では、その成果として、新たな執行部を選出し、改めて強制配転粉碎、営業関係での労働条件改善を闘い抜くこと、そして営業からも動労千葉の三大闘争に総決起していくことを確認した。

委員会は、冒頭、永井分科会会長代行の、この間の営業分科会の活動、団体交渉での追及等を中心とした闘いが明らかにされた。続いて、本部より中野委員長があいさつを行い、動労千

新任なった吉野分科会会長



葉の解雇撤回闘争と並ぶ最大懸案要求としての、強制配転者の原職復帰に向けた取り組みこそ、組織の課題であることが、再度明らかにされた。

経過報告(方針(案))が提起されたあと、一括質疑を行い、営業職場での合理化等に対する闘いと、諸要求事業が整理され、今後の団体交渉で当局を追及していくことが確認された。

そして役員改選では、新たに吉野分科会新会長を選出し、営業分科会の組織強化が勝ちとられた。

〈新役員体制〉

会長	吉野 幸成
副会長	永井 一代
事務長	鈴木 敏夫
執行委員	鈴木 敏夫 浜野 善弘 鶴岡 芳弘 外山 義章
会計監査	岡安 正人 浪川 貞夫

いすみ支部が定期大会

(12/7)



12月7日、「あすなろ」に於いて、いすみ鉄道支部第14回定期大会が開催された。

大会は山口副支部長の司会で開会。冒頭あいさつにたった田中支部長は、「本部は三大闘争方針を決定している。ひとつは、一〇四七名の解雇撤回に向けて全力で闘いぬくことだ。4党合意は国家的不当労働行為の総仕上げであり、労働者の権利に対する重大な攻撃だ。この攻撃をはね返そう。第二に「シニア制度」―鉄道業務の全面的な外注化攻撃反対の闘いに全力で立ちあがろう。提案された鉄道業務の全面外注化攻撃は鉄道会社のあり方を根本から変えてしまうような意味をもつものだ。そして三番目の課題は、JR総連解体―組織拡大だ。革マルの自己崩壊が始まり、JR総連の矛

盾はもはや臨界点に達している。いすみ支部は高齢者の多い支部だが、退職後もOB組合員としてともに闘う取り組みを強化したい」と訴えた。また支部長からは、この11月にJRを定年退職し、いすみ鉄道の嘱託となつた米元さんがOB組合員としてともに闘いつづけることが紹介された。

その後、本部中野委員長をはじめ、水野勝浦市議、労金と全労災の方から来賓のあいさつを受け、議事の提案後、欠員の補充問題等今後の取り組みについて討議が行われ満場一致で運動方針を採択。新役員が選出された。また最後に、今期で書記長を退任され、近く定年退職予定である峯島さんから「早いもので六年、皆様のご協力を得て大過なくすごすことができました。とくにこの三年は大役を引受けることになりましたが、ご協力に感謝します。これから動労千葉の団結を守り頑張つて下さい」とのあいさつが行われ、盛大な拍手が送られた。

終了後には和気あいあいのうちに懇親会がもたれ、より一層の団結を誓いつつ、大会は大成功のうちに終了した。

二〇〇〇年度新役員

支部長	田中 広胖
副支部長	山口 六衛
書記長	君塚 時雄
会計監査	五十嵐 浩吉

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!